それいゆ広報

Vol.133

夏祭り～！縁日～！　時を忘れて楽しみました！

朝夕の秋風が心地よく過ごしやすい時節になってまいりました。

ご利用者様ご家族様、各関係機関並びに事業所の皆様には、当施設の運営に対しご理解とご指導ありがとうございます。特にご利用者様ご家族様には、二年半にも及ぶ新型コロナウイルス感染症予防対策では、ご協力いただき深く感謝しております。

私ども職員も施設にウイルスを「持ち込まない」対策を徹底し、日々施設内での基本的感染対策を実践する毎日を送って参りました。

そのような折、六月中旬に新規で入所されたご利用者様が、入所三日目に急に発熱をされました。直ぐに病院に受診していただき、新型コロナウイルス感染症と診断されました。入所の際に、抗原検査で陰性を確認しており、入所後もお元気でよく歩いておられました。そのため、結果に驚き、同時に施設内でコロナウイルス感染者が出てしまったことに大変困惑しました。

発覚当日の夜には、できる限りのゾーニングを開始しました。しかし、三日間ですでに感染は広がっていました。翌々日から連日にわたり、ご利用者様、職員の感染者が発生、最後の感染者発生の七月五日までにご利用者様十九名、職員十四名が感染しました。感染拡大中は、拡大を最小限に抑えること、ご利用者様へのサービスをできる限り維持することを常に考え、職種を越えて職員が協働しました。七月十八日にようやく収束となりました。この間、ご利用者様ご家族様には多大なご迷惑をおかけしましたことを改めましてお詫び申し上げます。また軽症のご利用者様は下呂市の病院に入院されたため、ご家族様には入退院の際に下呂市まで足を運んでいただくことになりました。本当にありがとうございました。

各関係機関の皆様にもご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

多数の感染者の発生となりましたが、重症化されたご利用者様はなく無事に再入所されたこと、職員もすべて復職していることを有難く思っています。以来、新規で入所されるご利用者様には、入所当日から三日間は毎日抗原検査をさせていただき陰性を確認しています。また感染状況を常に情報収集し職員間での共有に努めております。職員は感染対策を継続し実践しています。

新型コロナウイルス感染は、感染者数の高止まり傾向にあり終息には時間が必要と考えています。長期に亘る感染症との闘いの中であっても、「ご利用様に笑顔でいていただきたい、美味しく食事を召し上がっていただきたい、季節感を感じていただきたい」と考えております。できないのではなく、何かできることはないかを考え、創意工夫を図り、ご利用者様に豊かな人生の時間を過ごしていただくために、職員一丸となり努力していく所存でございます。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人同仁会
■介護老人保健施設　それいゆ
TEL0577-35-3030
■桐生クリニック
TEL0577-35-3880　FAX（共通）0577-35-3063
■折茂医院
TEL0577-34-5025
■それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
■ヘルパーステーション　それいゆ
TEL0577-37-3360
■病児保育室プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
■ケアプランセンター　それいゆ
TEL0577-35-3770
■ショートステイ　それいゆ
TEL0577-35-0710
■シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
■Dr,Orishige　ビオメゾン
TEL0577-37-0800
■デイサービスセンター　れざみ
TEL0577-37-5666
■りあん・ど・それいゆ
TEL0577-32-8166

施設内感染を省みて

介護老人保健施設それいゆ
看護介護部長　今井靖子

特殊浴槽が最新型になりました!!

開設以来二十五年間稼働し続けた特殊浴槽「ライラック」号が五月末で引退し、六月より最新型特殊浴槽「アラエル」号が着任しました。新しい特殊浴槽はこれまでの物とは大きく異なる点があります。浴槽にお湯を張って浸かる従来のタイプから、ミストシャワー（細かい粒子の霧状のシャワー）をドームの中で全身に浴びる様式になった点です。「浸かる」から「浴びる」になり入浴様式の違いから、当初は戸惑われる事の無いようご説明をしながらのスタートでしたが、導入後三カ月が過ぎご利用者様にはたいへんご好評をいただいております。

ここで新しい特殊浴槽のメリットをご紹介します。

1. 気密性のあるドームの中でのミスト効果

ウルトラファインバブルの効能により超微細な気泡で身体の芯まで温まり、入浴後もぽかぽか感が持続します。

2. ウルトラファインバブルシャワー効果

ウルトラファインバブルシャワーがシワや毛穴の奥まで入り込み汚れをしっかり落とし、お肌の潤いを保つ効果もあります。

3. 陰部・臀部もしっかり届く

二十二基のシャワーノズルが全身に当たるよう効率よく配置されています。

4. 洗いもできる

ボディシャンプーも自動で行うことが出来ます。

5. 安全です

溺れたり逆上せることがないため安全です。

6. 安心です

ドームの中は清潔で、プライバシーも保たれています。

以上のメリットをご認識のうえ体感していただくと共に、今後も安心・安楽にご利用いただけるよう努めさせていただきます。

最後に新規特殊浴槽検討の際、上記メリットはさることながら以下の事を念頭に選定にあたりました。

○職員の入浴介助の負担軽減
○イニシャルコスト及びランニングコストの削減
○利用者並びに使用者の安心感・満足感の獲得と増大

事務長以下職員も実際に体験し導入の運びとなりました。

コロナ禍における対応・取組みのアレコレ

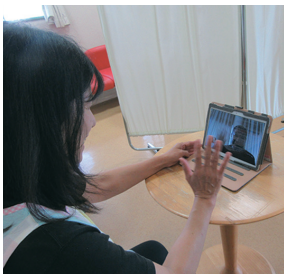
① 簡易抗原検査

クラスター発生期間中は毎日実施しました。この経験をもとに入所時から三日間検査を行うこととなりました。職員の予防的定期検査も行うことになりました。

② ディスポ食器の見直し

献立に応じた個々の食器形態から弁当形式に変更しました。配膳・下膳の手順の大幅改善に繋がりました。

③ オンライン面会



予約制で施設のタブレット端末により画面越しの面会が出来ます。

ご不便おかけしますが予防対策の徹底にご理解下さい。

④ ギャラリーで行った気分

気分転換して頂きたくフロア内に観光地や景勝地の写真を掲示しています。

歳時記

4月

中庭にてお花見

紅梅も咲きました

5月

コロナ禍での勉強会

6月

コロナに負けるな大運動会

朴葉寿司

北小学校の代山さん姉妹から夏休みの課題で広告を折った物入をたくさんいただきました。

ありがとうございました。

8月

夏祭り

大物釣れたヨ

ショートステイそれいゆ

生活相談員　中島奈々

平素はショートステイそれいゆをご利用いただきありがとうございます。この度施設でのコロナ感染者の判明にて入所制限を行い、皆様に多大なるご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。今後は入所時抗原検査を行い、陰性を確認してからご利用いただくよう徹底し、感染予防に努めてまいります。

今回初めて介護職としてフロアで勤務しました。感染拡大防止の為、各居室対応としましたが、居室に留まっていただくのは難関でした。フェイスシールドをしていることで、こちらの声も伝わりづらく、私達の装備から不安に思われる方もいらっしゃいました。食事も使い捨て食器で居室での一人食のため、さみしそうでした。

スタッフはガウンを着て汗だくになりながら、感染の不安や感染予防策に四苦八苦していましたが、時間と共に気持ちの余裕が出来てきました。普段当たり前に行っていた事を感染予防のために中止していましたが、中止事項への取り組みも考えられるようになりました。業務継続計画を作成し、災害時に備えた準備をしていましたが、いざその現場にたつと、目の前の業務をこなすのが精いっぱいで自分の心に余裕がなく準備不足だと痛感しました。

相談員は、行政や家族、ケアマネジャーとの連携を取るべき立場ですが、今回は分業としました。これを教訓に何を優先して動くべきか正しく判断し、冷静な目でサポートできるよう精進します！

通所リハビリテーション

介護長　白川浩代

暑い夏が終わり、秋の風が吹く過ごしやすい季節になってきました。〝読書の秋〟、〝スポーツの秋〟などいろいろなことが楽しめる季節が到来です。もちろん私は〝食欲の秋〟。いつの時代も芋栗南京は女の子の好物です。

さて、コロナウイルスが猛威を振るうようになってもう三年目に突入です。高山市の感染状況も油断のならない状況となっております。それいゆ通所リハビリも六月から七月にかけて約一か月のお休みをいただきました。ご利用者様には大変ご迷惑をおかけしました。

今思えばやはりどこかで「私は大丈夫」と思っていたところがあったのではないかと思います。フロアのクラスターを目の当たりにした時はやはり脅威を感じざるをえませんでした。しかし、せっかくだからそこから何か学べることはないかと思いました。より一層こまめな消毒やフェイスシールドやヘヤキャップを使用した感染予防行動。利用者様だけでなく家族様への普段からの様子を伺ったり連絡帳での注意喚起など行っています。

先の見えない感染だからこそ、上手に付き合う方法を模索しつつ今後も楽しいそれいゆ通所リハビリでありたいと思います。利用者様におかれましても今後も感染予防へのご協力をお願いいたします。

ケアプランセンターそれいゆ

主任介護支援専門員　井口亜未

初秋の候、日頃はケアプランセンターそれいゆの活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在当事業所では五名のケアマネージャーが在籍しています。それぞれに担当を持ち利用者様の相談・支援等のケアマネ業務に従事していますが、事業所内全体の事務的作業はケアマネ五名それぞれに役割分担を行い、全スタッフで事業所内の仕事を回している現状があります。

今の五名がこれからも継続して同じ事務作業ができるわけではないため、今後を見据え誰がその仕事を担当することになっても同じ仕事内容ができるように作業のマニュアル作りに取り組んでいます。

マニュアルとは業務に関する情報が網羅的に記載された文章のことをいいます。これがあることで業務の質の均一化を図ることができ、誰でも必要な時に必要な情報を確認できるメリットがあります。

このマニュアルを作成することで業務の全体像が見える化され、誰が担当することになっても業務の質をバラつかせることなくスムーズに事務作業が継続できることになります。

ＢＣＰ（事業継続計画）の一環として例えケアマネが一人しか出勤できない状況になっても事業を継続できるよう、もしもの時の備えとしてこのマニュアル作りが次につながるために今、取り組んでいることの一つです。

それいゆ訪問看護ステーション

看護師 菅原直美

これからの為に 今、取り組んでいること

朝、目が覚めると鳥のさえずりが耳をくすぐり、庭に出れば澄んだ清涼な空気が身体を満たしてくれます。家の周囲を見廻り、ご飯を食べて出勤する、これが今の私の毎朝です。飛騨に移り住んで二十三年、子供たちが巣立ち慌ただしかった日常が一変して家は随分寂しくなりました。

訪問看護師として再就職し、刺激を受けながら充実した日々を過ごす一方で、今まで子供たちに向いていたベクトルが自分自身に向き、これからの人生を考える機会が増えました。人生を歩んでいく上で、やはり心身の健康と毎日のちょっとした楽しみがとても重要であると感じています。

年齢と共に筋肉量が落ちるので、運動を習慣に取り入れる為ジムに通っています（コロナの状況で休会します）。元々は身体を気遣って始めたことですが、そこで出会った人達との交流が休みの日に家から一歩を踏み出す勇気をくれます。家や職場以外にコミュニティがある事で生活に張り合いを、心にゆとりをもたらし、より活力ある毎日を過ごすことが出来ています。

またボカシを混ぜて土から作った小さな畑には季節によって様々な野菜を実らせ、食卓を彩ってくれます。手間は掛かりますが、初めて植える食物の花の色や大きさに心を弾ませたり、まだ小さな苗が一生懸命に葉を広げ育っていくのを見ると「私も頑張ろう」と元気を貰えます。

プライベートが充実し、自分の時間を大切にする事が出来る様になったことで、心に余裕が生まれ、日々穏やかに過ごせるようになりました。訪問看護の仕事でも、より相手さんの気持ちを考えたり、思いやったり、今までは見えていなかったような部分にも気が付くようになりました。

己にも周りの人にも優しくなれる、私の新しい生活で幸せのサイクルが回り始めています。

心身ともに元気に、自分らしく楽しく生きていく為の私なりの取り組みをしています。

ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 野島尚子

日頃は、ヘルパーステーションそれいゆをご利用いただき、スタッフ一同、心より御礼申し上げます。落ち着いてきたかのように思えたコロナ感染も、七月からの爆発的な感染拡大しており、予断できない状況となっています。利用者様も不安に感じられて見えるのではないでしょうか。引き続き感染対策を行い一人ひとりが気を付けて生活していきましょう。

さて、介護業界では超高齢化社会が訪れることを見据え、訪問介護事業の必要性が増えるであろうとしている中、全国的にみても、職員不足・職員の高齢化などが問題となっています。当事業所も例外ではありません。平均年齢五十？歳の四名の職員は体調管理を行いながら、経験や知識を生かして利用者様のニーズに応えるよう、日々介護内容の見直し・相談・勉強会を行っています。

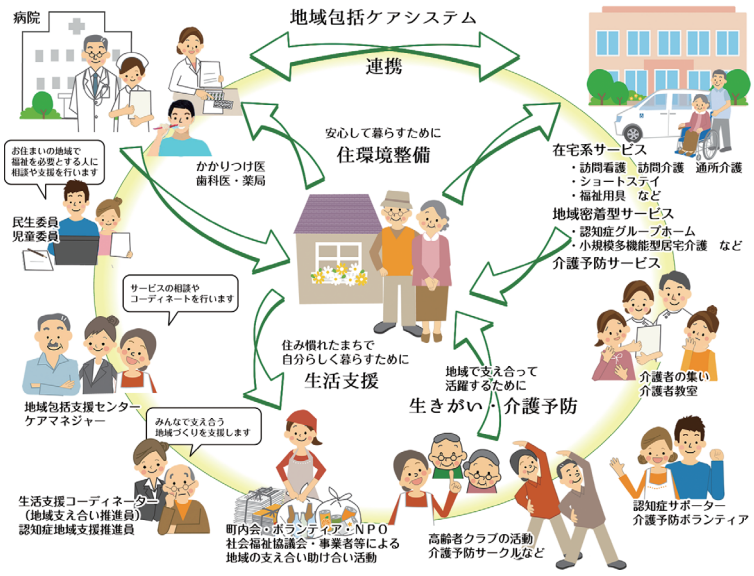
訪問介護は、慣れ親しんだ自宅で安心して過ごすことが出来る・一人で行うには不安なことも、ヘルパーさんと一緒なら出来るという安心感、などの様々なメリットがあり、在宅で介護をされているご家族様や、一人暮らしで不安を抱えてみえる方を、支援させていただく仕事です。

一人ひとりに寄り添った支援ができる事が、私達訪問介護員にとっての働き甲斐となっています。

今後を見据え、利用者様に不便なく業務を継続して行う為には、人員不足を解消し利用者様に満足していただける介護技術の向上に努める事、若い世代の人達が訪問介護の仕事に抵抗なく就くことが出来るような、訪問介護職のイメージの変換・働き方改革の促進を行う事が、利用者様への支援を継続するために必要だと思います。

今後ともヘルパーステーションそれいゆを宜しくお願いします。

★新規の利用者様・訪問介護職員の募集をしております。気軽にお声掛けください。



りあん・ど・それいゆ

管理者　阿礼　由美香

新型コロナウイルス対策で、ご利用者並びにご家族、関係者の皆様にはご理解とご協力頂きまして誠にありがとうございます。

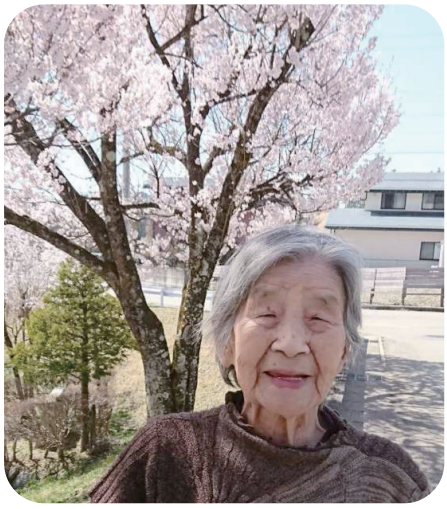
りあんのある中山町は、春になると沢山の花が咲きます。鳥のさえずりや、カモシカの姿をみることもできます。登下校の児童・生徒の元気な声も聞こえてくる最高の場所です。桜と藤が満開に咲いていた際には、運動と気分転換を兼ね散歩に出掛けました。建物内ではみることのできない表情やしぐさをみることができました。

また、毎月の壁紙やカレンダー作りに加え、クラフト作りを始めました。皆さん真剣に取り組んでおられます。今後も楽しんで取り組めることを計画していきます。

全国的に介護職員が不足していることはご存じの事と思います。りあんでもこの問題に直面し、五月から同仁会内の事業所から応援に来てもらっています。

当初は、知らない職員がくることにより、認知症状が誘発されるのではないかと心配をしていましたが、ご利用者は気さくに話してくださり、介護抵抗されることなく、受け入れて下さり感謝しております。

わたしたちと一緒に働いて下さる方を募集しています。ご見学も可能ですので、興味を持たれた方はご連絡ください。



シャロン・ド・それいゆ

管理者　牧田　功

新型コロナ感染症もまだまだ油断できない状況です。今後とも予防にご協力をお願いいたします。

小規模多機能型居宅介護サービスの利用にあたり、他のサービスでは十分な介護が難しい利用者さまへの多様性のあるサービスの提供が問われております。限られた介護資源の中で、如何に的確に必要なサービスを提供できるか？定期的な自己評価・研修を行い職員の質の向上に努め、期待に応えられるように繋げていきたいと思っています。お気付きの点、ご要望等ありましたら、御遠慮なく申し出下さい。

『環境整備』・季節感の感じられる環境

小さな庭でプランターを利用して利用者と職員が野菜や花を育てる。収穫の楽しみや花をめでることで季節感を感じていただき、楽しみのある生活が送って頂けるように心がけております。

また近年災害も多くなり施設等の確認を行い安全に生活していただけるように環境の整備に努めています。

『身体管理と異常の早期発見』・健康に毎日をすごしていただくために

併設の折茂医院との連携を行い、定期的バイタルチェック、身体状態の確認による異常の早期発見に努め、介助者が不在時の介助の提供による受診にて安心した生活が継続できるように努めています。

シャロン・ド・それいゆは自立した方から、看取りまで、介護度に合わせて介護の相談・提案も行っています。見学・相談は随時受け付けております。ご気軽に連絡下さい。

Dr.Orishigeビオメゾン

介護長 澤浦恒子

心地よい秋日和が続く季節となってまいりました。平素はご支援を賜りまことにありがとうございます。新型コロナ感染ウイルスもまだまだ拡がりを見せ、油断のならない毎日です。施設内での感染予防対策の徹底を今後も継続し、十分注意してまいります。

有料老人ホームビオメゾンでは、入居者様、利用者様の健康と安心をお届けし、いかなる状態になられても尊厳と権利が守られる。愛のある「時・空間つくり」を目指します。皆様に選んでよかったといって頂ける施設となるように日々努力を重ねています。

令和も四年目を迎え、ビオメゾンでは次につながるため今、取り組んでいる事は**3S活動です。（整理・整頓・清掃）**

安全・快適、効率的な職場を作ること。守る事を決めて、決めたことを守る。

利用者様が、安心、安全に、快適に生活していくためには、私たちスタッフがひとつの方向に向かってまとまることにも有効です。いつでも新鮮な気持ちで、心穏やかに介護のお手伝いが出来るようにしたいと思っています。

3Sは要るものと不要な物を仕分ける整理、必要な物が誰でもすぐ取り出せる整頓、職場をきれいにする清掃。いつも行っているようなことですが、地道な活動です。

失敗やミスは集中力不足や気が散ることのよって起こります。しかし整理整頓された環境であれば、長時間集中力を保つことが期待できます。

また身の回りを整理することで、資料や書類の間違いや紛失を防ぐことも出来ます。整頓することにより探し物をしている時間を減らすことが出来ます。

調べたところ探し物で遣う無駄な時間は年間百五十時間もあるといわれています。どこに何があるか、使用した物は元の場所に。整頓できていないと、仕事の効率が悪く、疲れるばかり。

清掃においては、古来より日本では「掃き清める」「拭き清める」と言う表現があるように、清掃には、其の場所を清め浄化する意味があると考えられています。

それは目に見えるところだけでなく自分自身の心の中にも通じる物だと思います。掃除を行い自分の居場所を整えることは自分の心の中を整え清め浄化することにもなるのではないでしょうか。

利用者様から選ばれる、温かい愛にあふれたホームを目指し、3S活動に取り組み、仕事の質を介護の質を高めて行きたいと思います。

コロナ渦中、朝晩冷える日もございますので、利用者様の体調に留意しながら、今後も寄り添いの介護を心がけスタッフ一同がんばってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

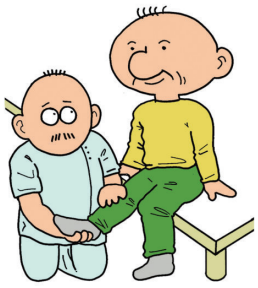
デイサービスセンターれざみ

管理者 理学療法士 宇田輝彦

当施設では、要介護状態になられた方々がご自宅での生活を維持できるよう、可能な限りのご支援・サポートを行わせていただいております。自宅から外に出ることでの刺激や活動性の向上、他者との触れ合いによる精神面の活性化など、通所介護を通して身体面の改善をご支援させていただいております。

これまで、ご利用者様のお体の調子や能力の変化など、ご家族様への細かな情報伝達や関係者の方々との情報の連携を意識して努めてきました。令和四年一月より、理学療法士が加わったことで、ご利用者様のご自宅の環境や生活場面、身体の使い方などを評価し、姿勢の調整や正しい動き方などのご支援ができるようになりました。機能訓練による体力や活動性の向上に加え、病気やケガをする以前の生活動作についても一緒に考えるようにしています。

皆様が自分自身にとってより良い選択や行動を自発的にとれるようにサポートし、行動変容に繋げ、できる能力の向上をご家族様や関係者の方々と共に深め、安全・安心な在宅生活の支援ができるようにしていきます。健康に興味があれば、きっかけと正しいサポートによって少なくとも前は向いています！



病児保育室プティそれいゆ

管理者 中谷美穂

次につながるために 今、取り組んでいること

子育て世帯を取り巻く環境は、少子化・核家族化・育児と介護両方を背負うダブルケアの問題など、ここ数十年で大きく変化してきました。

加えて数年に及ぶコロナ社会は育児の孤立に拍車をかけました。三歳以下の子供たちは家族以外の表情を知らず、皆マスクをしていて誰が話しているのか分からない、口の動きが見えないため発音が分からない、他人と接する機会が極端に少なくなったなど、今までにない環境が続いています。

親御さんも皆で集まれない、仲間を作れないなど、不安や孤独を解消するのが難しい状況です。

そんな中で私たち病児保育室は、親子で参加して、遊んだり、お話ししたり、そんなつながりを持てる機会を創っていこうと考えています。不安も孤独もなく子育てが楽しめる、悩んだら話すことができて手助けしてもらえる、そんな場所の一つになれるよう取り組んでいます。

七月より病児保育室にて「プティひろば」を始めます。感染予防対策によりご不便をおかけしますが、「プティひろば」にぜひお立ち寄りくださいませ。スタッフ一同お待ちしています。

編集後記

暑さも日増しに和らぎ、吹く風も秋の気配が感じられます。この三年間、コロナ禍やロシア・ウクライナ戦争、異常気象等、これから世界はどこに向かい、人々の暮らしはどう変わっていくのか考えさせられる毎日です。

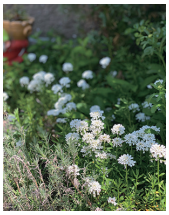
そんな時、NHKの【映像の世紀】～映像プロパガンダ戦 嘘（うそ）と嘘の激突～という興味深い番組を観ました。国が国民を意図する方向に向かわせる為に映像によるプロパガンダを行っている、という内容です。これは映像が登場した時代から度々、諸外国や日本でも行われていると解説されていました。

また近年ではAIを駆使したフェイク映像が大統領選挙や戦争の行方を左右しているそうです。このようなことは大昔から行われていて、人々を意図する方向に向かわせて戦争等に誘導し、結果的に国民は大変な状況となっていました。〝歴史は繰り返す〟とことわざがありますが、人々がささやかな生活の営みを行っている日常に何故、辛い出来事（疫病・戦争・飢饉等）が起こりうるのでしょうか。

現代は映像の情報がすぐ入手出来て、自然災害にも備えることのメリットがあります。しかし利便性だけ注目していると知らぬ間に思わぬ状況に巻き込まれているかもしれません。各方面から発信される情報源を改めて捉えなおした時、果たして本当に信用に値するか、冷静かつ注意深く世界を見つめなおす時がきていると感じます。

日本もようやくコロナ関連の扱いに政府が動き出しました。国は疲弊した日本経済や人々の暮らしの立て直しを明確化し早急に進めるべきです。みんなで力を合わせて明るい話題が飛び交う日常に戻していきたいですね。この時代を生きていく子供たちの為にも、与えられた情報だけで真偽を判断せず、自身も情報収集し精査する感覚が大切と思います。落ち着いた気持ちで季節の移ろいを愛でる日々となりますように。

皆様、お身体ご自愛下さい。



《それいゆ広報委員会》一戸康弘、坂上智春 〈編集・校正〉一戸かおり、坂上智春 発行：医療法人 同仁会